

養泉寺

養泉寺は、東京上野にある天台宗の寺院、寛永寺の系列の寺院です。養泉寺は、この地域の巡礼路である「最上三十三観音」の第 25 番の寺です。「観音」とは、慈悲の菩薩である観音菩薩のことです。養泉寺の建立年は不明ですが、1688 年に改修され、1895 年に焼け落ちた後再建されています。養泉寺からは、遠くにそびえる月山と鳥海山と近くの田んぼを見渡す景色を堪能することができます。

偉大な俳人・松尾芭蕉（1644～1694 年）は、江戸（現在の東京）から日本の北部地方への 2,400 キロメートルの旅の間、養泉寺に 7 泊しました。境内には、芭蕉が滞在中に詠んだ詩と彼の生涯について彫られた石碑「涼塚」があります。

涼しさを	涼しさを
我宿にして	自分が横たわる住居にして
ねまるなり	すっかりくつろいでいる

（ドナルド・キーン訳）